

筆記試験情報に強い

北海道・札幌市
試験傾向分析を
ここまで調査しているのは
東京アカデミーだけ!

～ここまで調べているからの確な傾向分析や
2011～2021累計 的中問題を生み出せるのです!～



6,154名もの本試験解答データを元に試験を毎年分析!

徹底分析されたデータ・試験傾向は、弊社オリジナルテキスト、模擬試験、講座カリキュラムに反映され、他社の追随を許しません!
※実施日程・方法は2022年夏本試験日程の発表後にHPにてお知らせします。

WEB採点会に2022年夏は
あなたもご参加ください!

2021夏
1次検査
Point

1次検査にて2次検査のチカラも同時に見極められている!

- ★1・北海道・札幌市教員採用教職教養は「教育原理の出題が7割!やはり圧倒的に多い!」
- ★2・「基礎的な知識整理」&「読解力の有無」=初見の問題に対応できるか?が問われている
- ★3・2次検査で問われる可能性が高い「教育時事」・「社会時事」からの出題多数!
⇒北海道・札幌市教員採用試験では非常に珍しい『ご当地問題』も!
- ★4・超高正答率問題多数=易しい…ではない!
「超高正答率問題=『最重要ポイント理解・教員としての資質』を有しているか?」の見極めです!

2021年夏実施 北海道・札幌市教員採用試験 WEB採点会より!

1,242名ものデータで一目瞭然!鍵はやはり…「原理の確実な得点」+「一般教養の克服」にあり!

高正答率編! (正答率80%以上)

超高正答率問題 出題数急増!

「基礎的な知識整理」が出来ている受験生が否かで大きな得点差が!
「正しい学習をこなしてきているか?」がカギ!

問題番号	科目	分野	正答率
29	教育原理	教職教養	96.5%
32	教育原理	教職教養	96.2%
16	保健	一般教養	96.0%
22	教育原理	教職教養	95.6%
19	時事	一般教養	94.4%
26	教育原理	教職教養	94.0%
20	時事	一般教養	93.3%
40	教育原理	教職教養	93.2%
33	教育原理	教職教養	92.1%
4	国語	一般教養	91.8%
21	教育原理	教職教養	91.7%
3	国語	一般教養	91.2%
15	保健	一般教養	90.4%
11	物理	一般教養	87.0%
1	時事(ご当地)	一般教養	85.7%
39	教育原理	教職教養	85.6%
25	教育原理	教職教養	84.2%
35	教育心理	教職教養	83.3%

[90%以上の「超高正答率問題」]

2020夏6問 → 2021夏13問 (+7問)と急増!

低正答率編! (正答率65%未満)

ここを得点した受験生は大きなアドバンテージ獲得!
しかし超低正答率問題も多数!

「読解力の有無」が初見の問題への対応力を分ける!

問題番号	科目	分野	正答率
35	教育法規	教職教養	18.8%
6	数学	一般教養	34.1%
31	教育原理	教職教養	37.4%
14	地理	一般教養	38.3%
9	音楽	一般教養	44.2%
8	政治	一般教養	46.3%
17	英語	一般教養	46.4%
10	音楽	一般教養	48.1%
7	政治	一般教養	48.2%
12	物理	一般教養	55.2%
2	時事	一般教養	56.7%
24	教育史	教職教養	60.1%
30	教育原理	教職教養	60.7%
5	数学	一般教養	61.2%
34	教育原理	教職教養	61.8%

[50%以下の「超低正答率問題」]

2020夏6問 → 2021夏9問 (+3問)と急増!

2021夏試験は「超高正答率問題」と「低正答率問題」が急増し、
「普通難度問題」が半減(昨年14問→7問)しています!

2021夏実施 北海道・札幌市教員採用試験 1次検査を振り返って

★「教育原理での失点は「様々な面」から致命的」

上表の通り、教育原理の高正答率問題は9問。出題14問中の実に64.2%にのぼる。気を付けたいのは「易しい=簡単、では無い」点。「頻出分野かつ間違えたら教員としての資質を疑われる分野」は、即ち「得点出来て当然」なレベルをチェックしているということ。単なる得点源ではなく2次検査への布石としての役割も併せ持っている。

★「一般教養で得点出来れば大きな差が付く」

これは例年通りの傾向だが、注目したいのは例年一般受験生が苦戦する一般教養において「高正答率問題は時事・保健・国語などに偏り有り。反面、低正答率問題は多分野に渡る」こと。「教職教養で確実に17～19点。その上で一般教養において14～16点」を得点出来れば、弊社通学生たちとも勝負出来るレベルと言える。

★「時事(教育時事・社会時事)は最重要、かつ最新知識が必要!2次検査への布石となる出題が多数!」

オンライン解答解説会・講評にて弊社で絶大な分析力を誇る尾崎講師からもお伝えしたように「2021夏の教職教養は『時事』と呼べる問題多数。2次試験でそのまま問われる可能性が高い問題が1次で出題されている。そして原理・法規・心理とも「基礎的な知識整理」が出来ていれば『例え初めて見た問題(初見)』でも『対応』が出来たはずの選択肢がきちんと用意されている。なお教育時事・社会時事とも最新知識(性同一障害・情報・情報化の手引き・民族共生法・民法改正)、さらに答申も2021中教審から「重箱の隅をつつく様な」レベルで出題と、最新知識が必要である」。

★「基礎的な知識整理」と「読解力」が重要

尾崎講師曰く「適切な組み合わせを選べ」タイプの2つの問題で、選択肢1つの行数が3行もある。①～⑤の選択肢で15行にもなる。つまり「読解力の有無」が求められる。この「読解力の有無」は受験勉強全般でも必要だが、2次検査での「教科等指導法」では直接的に強く必要とされる。読解力があれば、問いに対して「きちんと読解すれば…これくらいの解答で良いんだ。これを答えればいいんだ」と判断できる。読解力が無いと、「何を書けばよい?どこまで書けばよい?どれを書けばよい?」と?だらけに陥る。2021夏の教職教養全体を振り返れば、「2次検査でも読解力が求められる=その布石」と感じられるはず。

弊社受講生たちには口うるさいくらい繰り返し繰り返し伝えてきているが校種/教科関係なく「教員採用試験は時間との闘い」である。

この点と上記★を正しく理解していた方が、1次検査合格を果たされているだろう(2021.7/6記)